

CIO — 銘柄分析レポート

東証プライム | 8766

東京海上ホールディングス

TOKIO MARINE HOLDINGS

業種 保険（損害保険・生命保険）

現在株価 ¥7,241（2026-08-19）

時価総額 約 13.8 兆円

作成日 2026年8月19日

作成者 桃太郎コーポレーション CIO

As of 2026-08-19 Close | Last Earnings 2026.08.12

投資判定

HOLD

51.0 / 100

長期 段階的エントリー検討
目標株価 ¥8,224（上昇余地 +13.6%）

推奨

1Qは保険収益+12.3%・税引前利益+11.5%、修正純利益は▲3.6%とやや軟調。

最新決算財務三票 | 2026年度 第1四半期（2026年8月12日発表）

</

↓ 2026年度 第1四半期実績 (2026年4月1日～6月30日)					
保険収益 2兆471億 前年同期比 +12.3%	税引前四半期利益 3,782億円 前年同期比 +11.5%	親会社帰属四半期利益 2,643億円 前年同期比 +3.3%	修正純利益 2,614億円 前年同期比 ▲3.6%	EPS (基本) 138.25円 前年同期比 +3.6%	四半期包括利益 3,754億円 前年同期比 +103.0%

通期計画 進捗率 (FY2026 (2027年3月期) | 受注見通し →)

修正純利益 進捗率 27.5% 2,614億円 / 9,500億円	親会社帰属利益 進捗率 31.8% 2,643億円 / 8,300億円
---	---

予想PER14.1倍・PBR1.68倍・配当利回り3.4%と損保大手として妥当水準。

投資重要指標

バリュエーション（重要指標）PER（実績）：15.7倍 | PER（予想）：14.1倍 | PBR：1.68倍

PER（実績）

15.7倍

7,241円 ÷ FY2025 修正EPS 約460円

PER（FY2026予想）

14.1倍

7,241円 ÷ 予想修正EPS 514円

PBR

1.68倍

7,241円 ÷ BPS 4,314円
最新四半期 親会社所有者帰属持分ベース

配当利回り

3.38%

FY2026予想配当 245円 ÷ 7,241円

資本効率・収益性（重要指標）修正純利益9,500億円（FY2026予・+7.8%） | 海外保険が連結修正純利益の6割超

ROE（FY2026予）

10.1%

親会社帰属利益ベース

ROA（総資産利益率）

2.5%

当期純利益 ÷ 総資産

修正純利益（FY2026予）

9,500億円

過去最高・+7.8%

粗利率

取得不可

売上総利益 ÷ 売上

還元余力・キャッシュ創出（重要指標）配当性向・FCF利回り・債務償還年数から株主還元の持続力を見る

配当性向

47.7%

1株配当 ÷ EPS

FCF利回り

取得不可

FCF ÷ 時価総額

FCFマージン

取得不可

FCF ÷ 売上

債務償還年数

取得不可

有利子負債 ÷ 営業CF

ネット有利子負債

-2.22 兆円

有利子負債 - 現金同等物

時価総額

約 13.8 兆円

2026.8.19時点

株価は1年で+12.2%、52週高値8,468円からは▲14.5%の水準にある。

過去5年業績推移・実株価チャート



指標	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
修正純利益	4,204億	4,437億	7,062億	8,097億	8,813億
親会社帰属利益	4,204億	3,764億	6,958億	5,946億	5,314億
1株配当	121円	143円	165円	190円	218円

株価推移（2025-08-20～2026-08-19）

データ定義：日次終値ベース（配当調整前・auto_adjust=False）

現在値

¥7,241

2026-08-19 終値

1年前株価

¥6,451

2025-08-19 終値

1年騰落率

+12.2%

6,451円→7,241円

52週高値比

▲14.5%

高値8,468円
(2026-07-29)

52週安値比

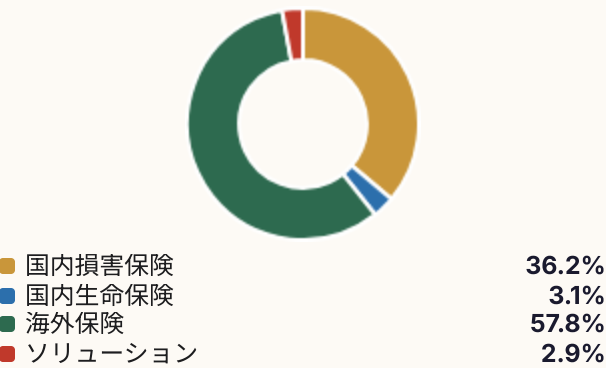
+36.6%

安値5,300円
(2025-11-21)

海外保険が連結修正純利益の6割超を稼ぐ収益の柱、国内損保は安定収益。

事業内容・セグメント別実績

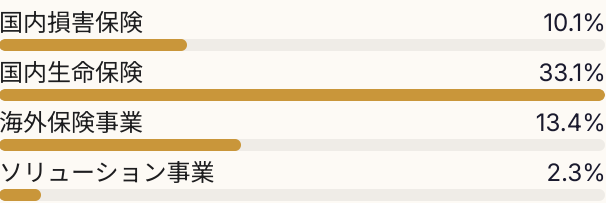
売上構成比



修正純利益（FY2026予想）
9,500億円
前期比+7.8%・過去最高更新計画

海外保険 修正純利益比率
約63%
1Q 海外1,643億／連結2,614億

セグメント別 事業利益率



セグメント別 実績（2026年度1Q・修正純利益ベース）

国内損害保険

売上 7,676億円
事業利益 **772億円（10.1%）**
FY26: 自然災害影響を注視も料率改定で安定収益

国内生命保険

売上 650億円
事業利益 **215億円（33.1%）**
FY26: CSM残高1兆1,470億円と将来利益を蓄積

海外保険事業

売上 1兆2,258億円
事業利益 **1,643億円（13.4%）**
FY26: 米国スペシャルティ中心に増収増益、成長の柱

ソリューション事業

売上 613億円
事業利益 **14億円（2.3%）**
FY26: コンサル・投資顧問等、規模は小さいが黒字

主力製品・競争優位

海外保険（成長ドライバー）
米国のスペシャルティ保険（労災超過・メディカルストップロス等）を中心に、M&Aと有機成長で拡大。1Q修正純利益1,643億円と連結の過半を稼ぐ収益の柱。

国内損害保険
自動車・火災・新種保険で国内最大級。料率改定と保有拡大で安定収益。自然災害の影響を注視。1Q修正純利益772億円。

国内生命保険
CSM（契約上のサービス・マージン）残高1兆1,470億円と将来利益を蓄積。IFRS移行で利益の平準化が進む。1Q修正純利益215億円。

資本政策・株主還元
修正純利益の約50%を配当する累進配当方針。政策株式の売却を進め、自己株買いと合わせ資本効率を改善中。

競争優位の源泉

- 海外スペシャルティ保険で世界的なプレゼンス
- 修正純利益ベースの累進配当＋自己株買いで高い株主還元
- 国内損保トップクラスの安定収益基盤

免許制で参入障壁は高いが3メガ・海外大手と競合。海外拡大が機会。

競争環境（ファイブフォース・SWOT）

ファイブフォース分析（根拠付き）



SWOT分析（各1～2行）

S — 強み (Strengths)

- 海外スペシャルティ保険が連結修正純利益の過半を稼ぐ収益の柱
- 修正純利益9,500億円（FY2026予・過去最高）と成長継続
- 累進配当＋自己株買いで高い株主還元（配当利回り3.4%）
- 国内損保トップクラス・分散された事業ポートフォリオ

W — 弱み (Weaknesses)

- 自然災害・大規模事故で損害率変動しやすい
- 海外事業比率上昇で為替・海外金利の影響を受けやすい
- 国内生保・ソリューションは規模・利益率が相対的に小さい
- 政策株式売却は進行中も資本効率改善は道半ば

O — 機会 (Opportunities)

- 海外M&A・スペシャルティ拡大による利益成長
- 国内料率改定・金利上昇による運用収益改善
- 政策株式縮減・自己株買いによる資本効率とEPS向上
- 気候変動に伴う保険需要増・再保険料率の適正化

T — 脅威 (Threats)

- 大規模自然災害・巨大災害（南海トラフ等）の発生
- 急激な円高による海外利益の円換算目減り
- 海外金融市場の変動・信用スプレッド拡大
- 国内市場の人口減・自動車保険の縮小圧力

現在値7,241円。実績PER・PBR・配当利回りは実数値ベース、52週高値比▲14.5%・安値比+36.6%。

バリュエーション・レンジ分析

現在株価（2026/8/19）

¥7,241

52週高値¥8,468から▲14.5%

1年前比

+12.2%

6,451→7,241円

52週高値からの下落

▲14.5%

8,468→7,241円

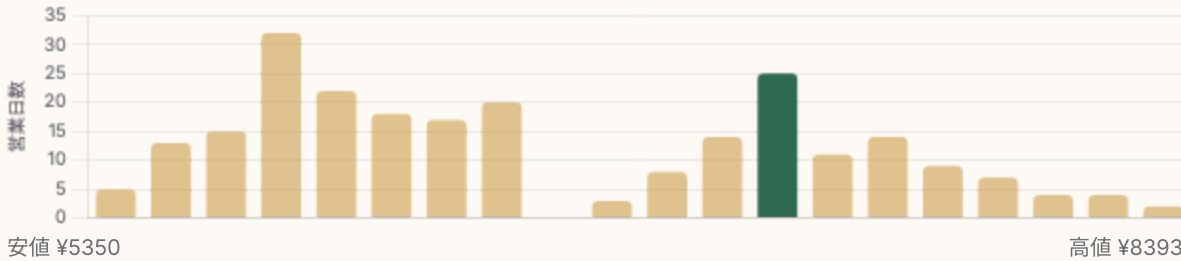
CIO目標株価

¥8,224

上昇余地 +13.6%

株価の分布（過去1年・日次終値）

過去1年、株価はどの水準に何日いたか。山の高いところが長くともった水準です。緑の棒が現在値の位置です。



山が高いところが、この1年で株価が長くともった水準です。現在値7,241円より高かったのは243営業日中66日だけです。（上位 27%）

バリュエーション指標の現在位置

指標	過去1年レンジ	現在	位置
予想PER	10.3倍 ~ 16.5倍	14.1倍	中位
PBR	1.23倍 ~ 1.96倍	1.68倍	中位
配当利回り	2.89% ~ 4.62%	3.38%	中位

※ 配当利回りは株価と逆方向に動くため、株価が高値圏の局面では利回りは安値圏になります。 | レンジは過去52週の株価レンジに、現在のEPS・BPS・予想配当を当てはめたもの（過去の実績EPSの変動は反映していない）

短期・中長期の見方

短期：調整局面

- 高値¥8,468から▲14.5%調整
- RSI14 34.9・売られ過ぎ接近
- 20日・60日線を下回る

中長期：増益・還元で上昇基調

- 修正純利益 過去最高更新計画
- 累進配当+自己株買い
- CIO目標株価¥8,224

テクニカル所見

株価は20日線(¥7,854)・60日線(¥7,520)を下回り短期は調整局面。RSI14 34.9と売られ過ぎ圏に接近。200日線(¥6,670)を上回り中期の上昇基調は維持。MACDはマイナス。

CIO 判断

高値からの調整局面で売られ過ぎ圏に接近。段階的なエントリーを検討しつつ、自然災害シーズンと海外金利動向を確認しながらシナリオを再検証する方針。

テクニカル指標

20日線
¥7,854

60日線
¥7,520

200日線
¥6,670

RSI(14)
34.9

MACD
-72.1

アナリスト平均目標¥8,601 (+18.8%)。CIO目標は保守的な¥8,224。

アナリストコンセンサス

CONSENSUS

平均目標株価

¥8,601

現在値

¥7,241

上昇余地

+18.8%

レーティング

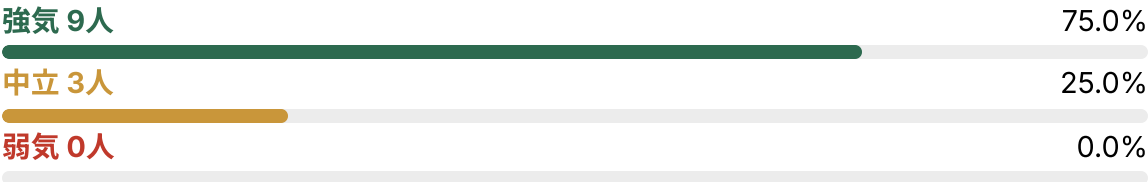
BUY (1.75 / 5)

カバーアナリスト 12人

TARGET RANGE



レーティング内訳



BULL vs BEAR

- 強気材料**

 - 海外スペシャルティ保険が連結修正純利益の6割超を牽引
 - 1Q税引前利益+11.5%、通期修正純利益9,500億円へ増益基調
 - 累進配当（FY2026予245円・+27円）+自己株買いで還元強化
 - 政策株式売却の進展で資本効率・EPS改善余地
- 弱気材料**

 - 1Q修正純利益は▲3.6%と海外・キャピタルで減速、自然災害リスク
 - 急激な円高で海外利益の円換算が目減り
 - 海外金利・信用スプレッド変動による運用損益の振れ
 - PBR1.68倍と国内損保では相対的に高め、上値は業績次第

MOMOTARO CIO VIEW アナリスト平均目標¥8,601（上昇余地+18.8%）に対し、桃太郎CIO目標は¥8,224（+13.6%）とやや保守的。会社計画（修正純利益9,500億円・修正EPS514円）を基準に予想PER16倍で算出。1Q修正純利益が前年比▲3.6%とやや軟調な点を織り込み、コンセンサスより慎重な前提を置いている。

Source: yfinance / As of 2026-08 / Analysts: 12

累進配当（FY2026予245円・+27円）+自己株買いで総還元強化。

株主還元方針 | DOE・累進配当

FY2025 配当（実績）

218円

前期比 +28円増配

FY2026 配当（予想）

245円

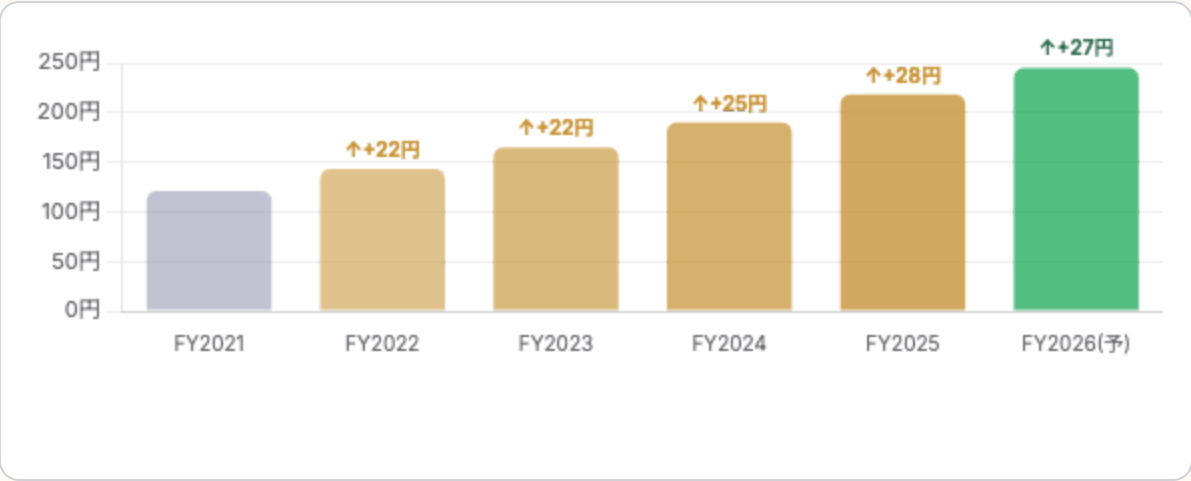
中間122.50 + 期末122.50

配当成長率

+12.4%

FY2025→FY2026予想

配当推移（FY2021→FY2026）



年度	EPS	1株配当	配当性向
FY2024	約374円	190円	約50.0%
FY2025	約460円	218円	約47.4%
FY2026（予）	514円	245円	約47.7%

📊 配当方針

- 修正純利益の約50%を配当する累進配当方針
- 減配せず利益成長に応じ増配を継続
- FY2026予想+27円増配で連続増配を継続

💰 自社株買い

資本効率向上のため、資本水準に応じ機動的な自己株式取得を継続する方針。

🎁 株主優待

金銭的な株主優待制度はなし。

★ 重要ポイント

配当利回り3.4%は損保大手として妥当水準。累進配当+自己株買いの総還元と修正EPS成長がリターン源泉。
(FY2021～FY2024の1株配当は2024年3分割調整後の概算)

修正EPS×PERモデルでCIO目標¥8,224。市場コンセンサスは参考線として別掲。

投資シナリオ（EPS × PER モデル）

成長ドライバー（強気材料）

- 海外スペシャルティ保険：M&A・有機成長で利益拡大
- 修正純利益の約50%還元＋自己株買いで総還元強化
- 政策株式の売却加速による資本効率・EPS改善
- 国内料率改定・金利上昇で運用・保険収益改善
- 財務健全：総資産33.7兆円・親会社持分比率24.3%

主要リスク要因（影響度）

リスク	影響度	主な影響	視覚
大規模自然災害（国内外）	高	損害率悪化で利益圧迫	
急激な円高（対ドル）	高	海外利益の円換算目減り	
海外金融市場の変動	中	運用損益・信用スプレッド拡大	
大規模事故・訴訟	中	個別損失の計上	
国内自動車保険の縮小	中低	長期の収入減圧力	

3つの投資シナリオ（FY2026～FY2027ベース・修正EPS×PERモデル） | 確率はモデル上の主観確率であり、統計的推定値ではない

市場コンセンサス目標株価（参考線）：¥8,601（アナリスト平均目標）

ブルシナリオ

¥9,540

算出株価（+31.8%）
想定EPS：545円 / 適用PER：17.5倍

実現確率（主観） 25%

前提：海外スペシャルティ拡大＋円安継続＋自然災害軽微

ベースシナリオ（会社計画）

¥8,224

算出株価（+13.6%）
想定EPS：514円 / 適用PER：16.0倍

実現確率（主観） 55%

前提：会社計画通り（修正純利益9,500億円）

ベアシナリオ

¥6,210

算出株価（▲14.2%）
想定EPS：460円 / 適用PER：13.5倍

実現確率（主観） 20%

前提：大規模自然災害＋急激な円高＋運用損

🍑 桃太郎コーポレーション CIO 最終見解

海外スペシャルティ保険を軸とした利益成長と、修正純利益の約50%還元＋自己株買いによる株主還元は魅力的。高値から▲14.5%の調整局面で売られ過ぎ圏に接近。一括建玉ではなく段階的なエントリー検討とシナリオ再検証を推奨する。CIO目標株価は¥8,224（上昇余

DISCLAIMER & DATA SOURCES

免責事項・データソース

01 | 情報提供について

本資料は情報提供のみを目的として作成したものです。特定の有価証券の取得・売却・保有を勧誘・推奨するものではありません。記載された銘柄分析・投資判定・目標株価等は作成者個人の見解であり、特定の投資成果を保証するものではありません。

02 | 投資判断・自己責任原則

投資にかかる最終的な意思決定はお客様ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。価格変動・信用・流動性・為替変動等のリスクを十分ご理解のうえ判断してください。

03 | AI生成データに関する重要事項 重要

本資料に記載されたデータ・数値・分析内容は、AI（人工知能）によって生成・作成されたものです。企業が公表する決算短信・有価証券報告書・IR資料等の現物資料と相違が生じる可能性があります。必ず一次情報をご確認のうえ投資判断はご自身の責任において行ってください。

04 | DATA SOURCES（出典・基準日）

企業一次資料：東京海上ホールディングス 2027年3月期 第1四半期決算短信（IFRS）
（2026年8月12日）

企業一次資料：東京海上ホールディングス 2026年度第1四半期決算概要（2026年8月12日）

企業一次資料：東京海上ホールディングス 2026年3月期 有価証券報告書

企業一次資料：東京海上ホールディングス IR情報（公式サイト）

企業一次資料：EDINET（金融庁）開示書類

市場データ：Yahoo! Finance（yfinance経由・日次終値 auto_adjust=False）

市場データ：東京証券取引所（JPX）

市場データ：アナリストコンセンサス（市場データ）

Market data as of 2026-08-19 close

Financial data as of 2026-08-12 earnings release

桃太郎コーポレーション CIO

対象銘柄：東京海上ホールディングス（東証プライム 8766） | 公開版

作成日：2026年8月19日